

## 大学の「単位」のひみつ

大学の授業科目は、「単位」という単位で示されることが多い。この「単位」について説明しておこう。

文部科学省の「大学設置基準」によると、1単位とは「45時間の学修を必要とする内容」を標準とすることが定められている。

### 1単位 = 45時間の学修

多くの大学では、標準的な授業科目（半期・15回）に対し、1科目につき2単位を与えている。よって、これは“90時間の学修”に相当することになる。

### 週1コマ（15回） = 2単位（90時間の学修）

1回の授業は90分だが、大学ではこれを“2時間の学修”に相当するものとして計算している（それだけ内容が濃い、ということもあるのだろう）。よって、15回の授業は“30時間の学修”にあたることになる。

それでは、残りの60時間はどうするのだろうか？

実を言うと、「大学生なら予習・復習は当たり前」ということで、その時間があらかじめ計算に入れられているのだ。

### 週1コマ（15回） = 2単位（30時間の授業 + 60時間の予習・復習）

ということは、1回の授業につき、“4時間の学修”に相当する予習・復習をしなければならない計算になる。

これは大変だが、せめて教科書の確認や、ノートの整理くらいはやっておきたい。時間割を詰め込みすぎると、あとで大変になるので注意しよう。